

2009年度

第4回「日本語海外研究者招聘事業」 応募要項

「日本語海外研究者招聘事業」について

財団法人 博報児童教育振興会は、1970年児童教育を振興する目的で文部省（現文部科学省）認可の財団法人として設立されました。

以来、「ことば」「文化」の領域を中心に、小中学生の教育実践に優れた実績を上げられた団体・個人に「博報賞」を贈呈して顕彰し、児童の豊かな人間性育成を支援してまいりました。

財団設立35周年にあたります2005年、教育の基盤となる「ことば」と「教育」の領域における、自由で独創的な若手の研究に対する助成活動を開始いたしました。これに続いて、2006年から独立行政法人 国立国語研究所の協力のもとに、「日本語海外研究者招聘事業（旧称：博報日本語海外研究者招へいプログラム）」を開始し、今年はずでに第3回の招聘研究者が来日し、研究を始めております。

この事業は、海外において日本語、日本語教育を研究し、特段に優れた研究業績を有する、当該分野で指導的な立場にある研究者を日本に招聘し、研究・調査等を行う機会を提供することで、これらの研究活動・交流を通して、我が国の当該研究分野及び国語教育の更なる発展に寄与するとともに、教育基盤の充実に資することを目的としたものであります。

本年度から独立行政法人 国立国語研究所に加え、新たに首都圏の大学・研究機関の協力を得て、よりよい受入体制で研究が行えるよう進めております。

ここに、第4回「日本語海外研究者招聘事業」の募集を発表いたしましたので、御案内いたします。

2008年12月10日

財団法人 博報児童教育振興会

THE HAKUHO FOUNDATION

1. 目的

海外において日本語研究、日本語教育研究を行っている研究者のうち、優れた研究業績を有する研究者を我が国に招聘し、研究機会を提供することにより、我が国における当該研究分野の更なる発展に寄与並びに当該研究の成果を教育実践へ橋渡しすることを目的としています。

2. 対象者および申請資格者

招聘対象者は、次のいずれにも該当することとします。

- ①日本語研究、日本語教育研究を行っている者。
- ②優れた研究業績を有する大学の教授若しくは准教授及びこれらに相当する研究職歴を有する者。
- ③原則として外国籍を有する者。ただし、日本国籍を有する者でも、外国におおむね10年以上在住し、当該国の学界で活躍している者を含みます。

3. 招聘期間

研究テーマ又は招聘者の事情を勘案し、短期招聘（6ヶ月）及び長期招聘（12ヶ月）のいずれかとし、下記の時期に滞日可能な研究者とします。

短期招聘 2009年10月～2010年3月

長期招聘 2009年10月～2010年9月

※ 特別の事情がある場合に限り、招聘期間を2009年10月から2010年9月までの期間内で調整することができます。

4. 招聘人数

短期招聘及び長期招聘を合わせて3～5名程度

5. 受入機関

独立行政法人 国立国語研究所（以下「受入研究所」という。）ならびに首都圏の大学・研究機関（以下「受入大学」という。）とします。

6. 助成内容

招聘研究者には、次の助成を行います。

- ① 渡航費 国際航空券で支給
- ② 滞在費 月額35万円
- ③ 住居費 月額10万円以内（実費）
- ④ 渡日一時金 30万円
- ⑤ 研究費 月額3万円
- ⑥ 海外旅行傷害保険

7. 応募手続

- (1) 提出書類
 - ① 招聘研究者申請書（申請書の記載は日本語に限ります。）
 - ② 推薦書（英文で作成する場合は、和訳した文書を添付してください。）
 - ※ 所属機関がある場合は、所属機関長の推薦書
 - ※ 所属機関がない場合は、過去に指導を受けた指導教員等の推薦書
 - ③ 論文（申請書の主な業績・著作欄に記載した代表的な論文1本）及びその要旨（日本語で800字程度）

- (2) 募集期間 2008年12月10日～2009年2月10日（必着）
（実際の研究期間は、2009年10月から2010年9月までの期間内としています。）

8. 審査

- (1) 招聘研究者の選考は、審査委員会を設置し、研究業績及び研究計画を審査することにより行います。
- (2) 審査に際しては以下の点が重視されます。
 - ・ 研究成果の教育実践への応用価値
 - ・ 研究成果の社会的価値・波及効果
- (3) 審査結果は、2009年3月下旬に文書で通知します。
- (4) 審査結果に関する個別の問い合わせには応じかねますので御了承ください。

9. 招聘期間中の研究活動

- (1) 受入研究所や受入大学内の施設・設備を使用して、研究員との情報交流、研究協力等を通じて研究活動を行います。
- (2) 研究上の必要がある場合は、受入機関以外の研究者と研究交流を行うことができます。

10. 研究報告

- (1) 短期招聘研究者は、研究開始より6ヶ月後に最終報告をしていただきます。
- (2) 長期招聘研究者は、研究開始より6ヶ月後に中間報告、招聘期間終了前（最終月）に最終報告をしていただきます。※(1)(2)共に財団事務局にて行います。
- (3) 招聘研究者は、招聘期間終了後1ヶ月以内に研究成果報告書を財団事務局に提出していただきます。
- (4) 招聘研究者は、招聘期間終了後（少なくとも3年間）、その後の研究活動の進展や実践状況についての報告書を財団事務局へ提出していただきます。
（進展がある場合、3年後も逐次、報告書をお願いする場合があります。）
- (5) 招聘研究者は、財団及び受入機関の要請により、刊行物及びシンポジウム等で、研究成果の発表をしていただきます。

《応募書類の送付先・連絡先》

〒102-0075

東京都千代田区三番町2 三番町KSビル コンベンション リンケージ内

「日本語海外研究者招聘事業」事務局

(電話)03-3263-8695 (FAX)03-3263-8687

(E-Mail)hakuhoip@secretariat.ne.jp

第4回「日本語海外研究者招聘事業」に関する日程

| | | |
|-----------|--------|------------------------|
| 募集期間 | | 2008年12月10日～2009年2月10日 |
| 結果通知 | | 2009年3月下旬 |
| 招聘期間 | (短期招聘) | 2009年10月～2010年3月 |
| | (長期招聘) | 2009年10月～2010年9月 |
| 中間報告会 | (長期招聘) | 2010年3月 |
| 最終報告会 | (短期招聘) | 2010年3月 |
| | (長期招聘) | 2010年9月 |
| 研究成果報告書提出 | (短期招聘) | 2010年4月中 |
| | (長期招聘) | 2010年10月中 |
| 経過報告書提出 | (短期招聘) | 2011～2013年の毎4月 |
| (最低3年間) | (長期招聘) | 2011～2013年の毎10月 |

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8F

財団法人 博報児童教育振興会

TEL 03 (5570) 5008

FAX 03 (5570) 5016

ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>